

「市民自治を考える集い」で、「森友学園問題」で疑惑追及の先頭に立つ木村真豊中市議と来春の地方選の健闘を誓い合いました。(11月18日 南部市民センター)

# 平和がいちばん

2018年12月15日 第138号  
平和で豊かな枚方を  
市民みんなで作る会

## 市役所建替え事業の抜本の見直しを

枚方市駅周辺・新庁舎整備は、事業費 1400 億円の大きな事業です。しかし現計画は、市民の立場よりも民間企業優先です。12月6日、市議会に示された計画素案では、市駅周辺の1等地である現市役所・市民会館・岡東中央公園付近の市保有地に 56階・30階の民間超高層マンション2棟と商業施設5・7階2棟が建設され、市役所は駅からの距離が現在の倍になる場所に移転するというものです。民間アドバイザー(エヌ・ティ・ティ都市開発他3社)の提案に対して審査委員が、現市役所の位置に超高層マンションを計画した理由を問うと、アドバイザーは「駅から近いということは、事業サイドからは非常に価値がある」と答えています(2018/2/3)。民間企業の採算性が優先された一端が見えます

現在の市役所、岡東中央公園、市民会館は一体的であり、行政の中核で市議会がある市役所を身近な

ものにしていきます。岡東中央公園は、福祉フェスティバルや多文化フェスティバル、福祉団体のバザー開催等市民主体の広場であり、周辺は市民と市職員、議員、市長が出会える公共空間になっています。市役所を市民の拠点しようと当時の市職員が土地買収等に努力した結果です。

市議会では、この段階で財政確保策の検討が必要との理由で、一部のエリアの事業のみを先行し、大半のエリアは当初予定より1年遅らせ19年度末に計画案を策定すると説明しました。これでは一体計画とは言えず、無計画な動きです。

新庁舎は保有地での建て替えをまず検討し、民間企業にふりまわされず、「市役所の在り方」を市民と話し合いながら決めるという当たり前の動きに変え、防災機能の強化も踏まえながら計画を根本的に見直すことが必要です。

### 意見

みくんな友だち やまだ よしこ

十一月二三日に岡東中央公園で行われた「第19回多文化フェスティバル」のフリマでの一コマです。

四人の印象的なお客さん。一人目のAさん。この店がフリリピンの貧しい子どもたちへの支援が目的であることを知ると、一気に話し出しました。「以前にフリリピンから来て働いていた女の子と知り合いだったけど、その子は急に日本にいらなくなっちゃった。ほんとはいい子だったのにね。少しでも助けになれば」と色々買ってくれました。Bさんは私に親しげに話し掛けて、あれこれこのフリマでは高価なものを物色して、拙い日本語で話しかけてきます。出身国を聞いてやっとなり合いです。彼女がきつとこの品を家族へのお土産にするのでしょうか。Cさんはフリマでの会話を楽しみながら掘り出し物を見つけて大喜び。「さっきの人

(Bさん)はどこの人?」「モンゴル」「私は韓国よ」「わからなかった!日本語上手ね」「長いからね、三七年いる」と韓国語で話して「ここは国際交流やね」と、午後の介護の仕事に行きました。四人目はかつて親しくしていた在日フリピン人。旧交を温め、たくさん買い物もして、連絡先を教えて去っていきました。

出身地の違う四人の女性の人生には様々なことがあったでしょう。ほんのひと時おしゃべりして、安い買い物をして、元気を貰って、そんな場になったかなと思います。

今、「入管難民法」の改正が大急ぎで進んでいます。人手不足への対応策というのですが、来日する外国人を利用してはいる気がしません。彼らの人権や生活は守られるのでしょうか。とても心配です。しっかり見ていきたいと思います。

## 松田久子 ホッとタイム



1957年彦根市生まれ 滋賀大学教育学部卒 81年  
から枚方市の障がい児施設・高齢者施設で働き  
介護職経験33年 ケアマネジャー10年  
介護・福祉「すずらの集い」代表

### これからも議会改革の声を上げていく

私たちは、枚方市議会議長あてに提出していた「市民に開かれた市議会への改善要望書」（370名の連名で提出）について議長との面談を拒否されたために文書回答を求めています。先日その回答があり再度、議会事務局と面談しました。しかしその回答は、私たちが求めていた議長名ではなく議会事務局課長名で作成されたものでした。文書回答さえも議長は拒否したのです。あまりにも市民を愚弄した対応です。また「市議会報」での本会議の議案についてのやりとりが匿名になっているのは「枚方市議会議会報発行要項」などに定められていること、議会傍聴資料の持ち帰りの要望や、予算・決算委員に全ての議員を入れることについては、過去の「議

会改革調査特別委員会」でも議論にはなったが、現状に「不都合はない、合理性がある」と結論付けられたとの回答。「市議会報」では、本会議の一般質問の発言者の名前や会派は載せているのに、一番肝心の本会議でのやりとりに発言者の名前や会派が伏せられている事にはどうしても納得がいきません。市民が知りたければ、市民自らが会議録や議案を別途開示しているからアクセスすればよいといった姿勢です。これは逆で、市議会が市民に積極的に知らせ、理解を求める姿勢が必要なのです。それが私たちが求める市民に開かれた市議会です。民主的な議会運営を実現するのはやはり市民の力しかありません。

## 手塚たかひろ 議員日誌



11月18日 「市民自治を考える集い」開催 ゲストは木村真豊中市議。木村さんから森友学園疑惑の取り組み、市民の声を聞く議員活動の報告。私は、市民は無力ではない、あきらめずに闘えば市政を変える力を持っていることを、美術館建設白紙撤回の運動の経験から市民が実感できたことを報告した。改憲や地方自治や市民生活破壊の安倍悪政NOなども国政まかせにせず地域から取り組む必要性も共通認識とすることができた。終了後の交流会にも多くの参加者があり大いに盛り上がった。

12月1・2日 第13回ユーカリフェスタ 会場は南部生涯学習市民センター。私は両日参加して、「イラク平和テレビ in 枚方」のスタッフとして「東北大震災 東北朝鮮学校の記録」を上映した。私も会員である「香里ヶ丘図書館を見守る会」「香里の歴史を考える会」をはじめ、恒例参加の川柳や生け花、枚方自助工房など多くの団体が、1

1947年佐賀県唐津市生まれ  
京都大学経済学部卒 京都  
市役所34年間勤務 主に福  
祉職場で働く 2011年市議  
初当選 現在2期目

階ロビーに活動の成果を展示。また、書道サークルや折り紙などの初参加もあった。前日の会場設営から終了後に会館を日常のレイアウトに戻すまで、多くの方々が参加。市民の手作りの活動を報告しあうフェスタ。市民の力で成功させた。生涯学習市民センターを単なる貸館でなく市民活動の拠点にするのも市民の力が必要だ。

11月21日 11月分議員報酬から218,200円を大阪法務局に供託。

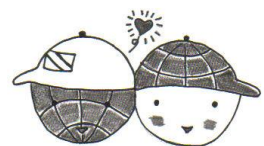
**私は政務活動費は受け取っていません。**

〒573-0027

枚方市大垣内町  
2丁目8-27  
シンエービル別館A  
市民の広場ひこばえ  
TEL&FAX  
072-846-8780

### 平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

共同代表 鈴木めぐみ（親と子のリズム遊び講師）  
奥村 秀二（弁護士）  
おおた幸世（枚方市平和無防備条例を実現する会）  
事務局長 手塚 隆寛（枚方市議員）  
事務局次長 松田 久子（「すずらの集い」代表）  
メールアドレス：[hiratkatasiminnokai@yahoo.co.jp](mailto:hiratkatasiminnokai@yahoo.co.jp)  
ホームページ：<http://hiratkatasiminnokai.jimdo.com/>



「会」のシンボルマーク  
塔本賢一さん作